

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公表番号】特表2008-514002(P2008-514002A)

【公表日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2007-532369(P2007-532369)

【国際特許分類】

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 B

C 0 9 K 11/06 6 9 0

C 0 9 K 11/06 6 6 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カソードと、アノードと、その両者の間に位置する発光層とを備える有機発光デバイスであって、その発光層が、

A) a) 正孔輸送化合物と、

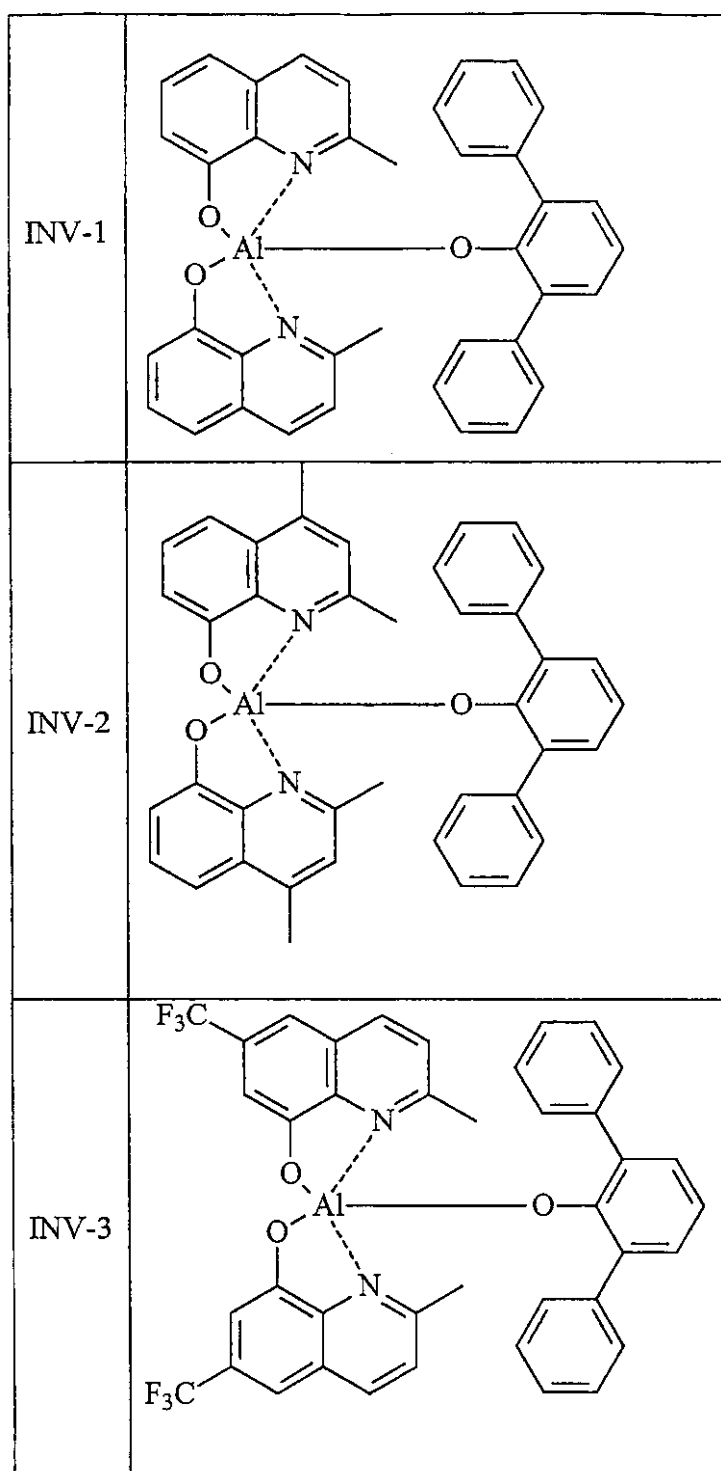
b) オルト位またはメタ位に少なくとも1つの置換基を有する芳香族環に結合した酸素原子を含むオキシ部分を通じてアルミニウムに結合した第3のリガンドを持つアルミニウムビス-(2置換)オキシノイド化合物を含む共同ホストと；

B) リン光発光化合物を含む有機発光デバイス。

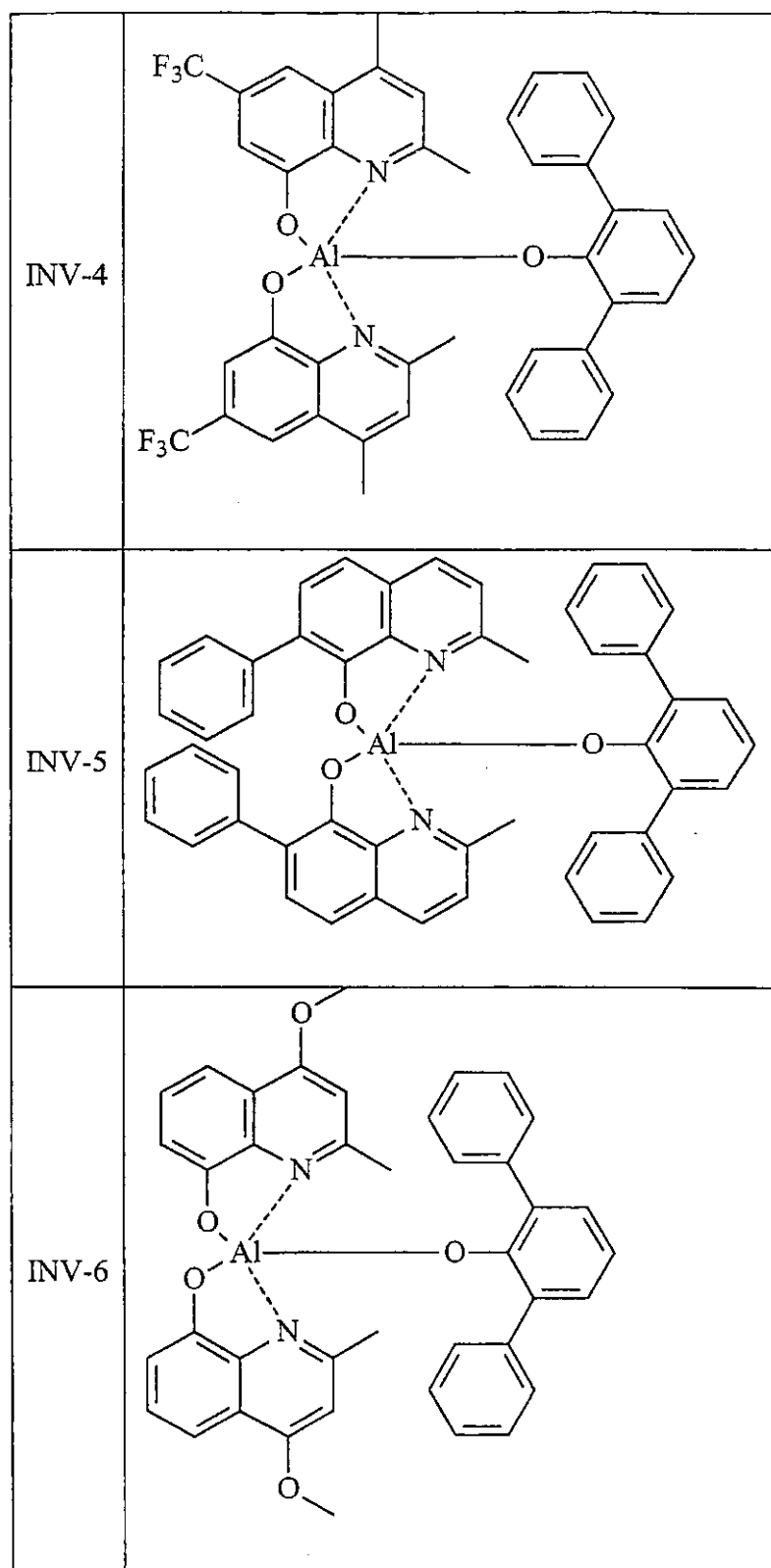
【請求項2】

上記オキシノイド化合物の選択が、以下のグループ：

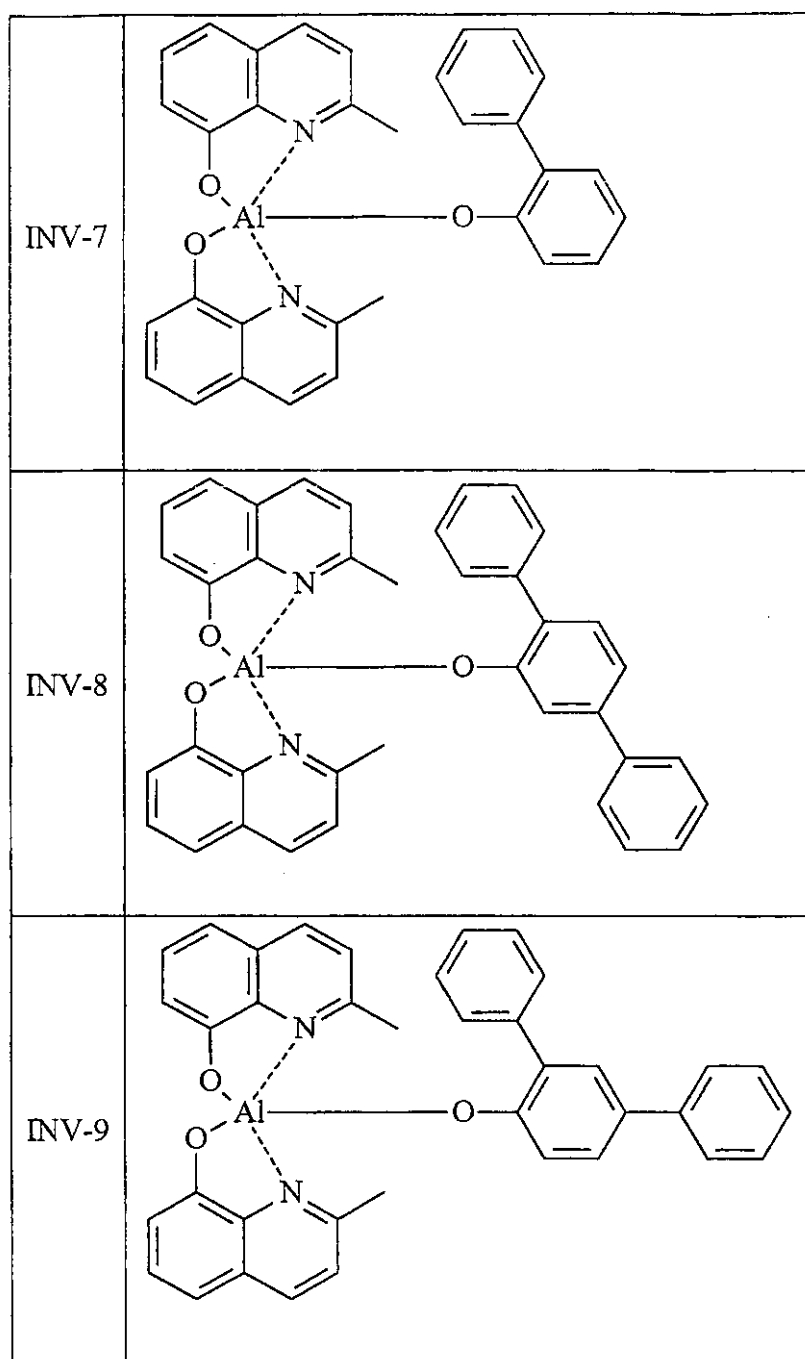
## 【化 1】



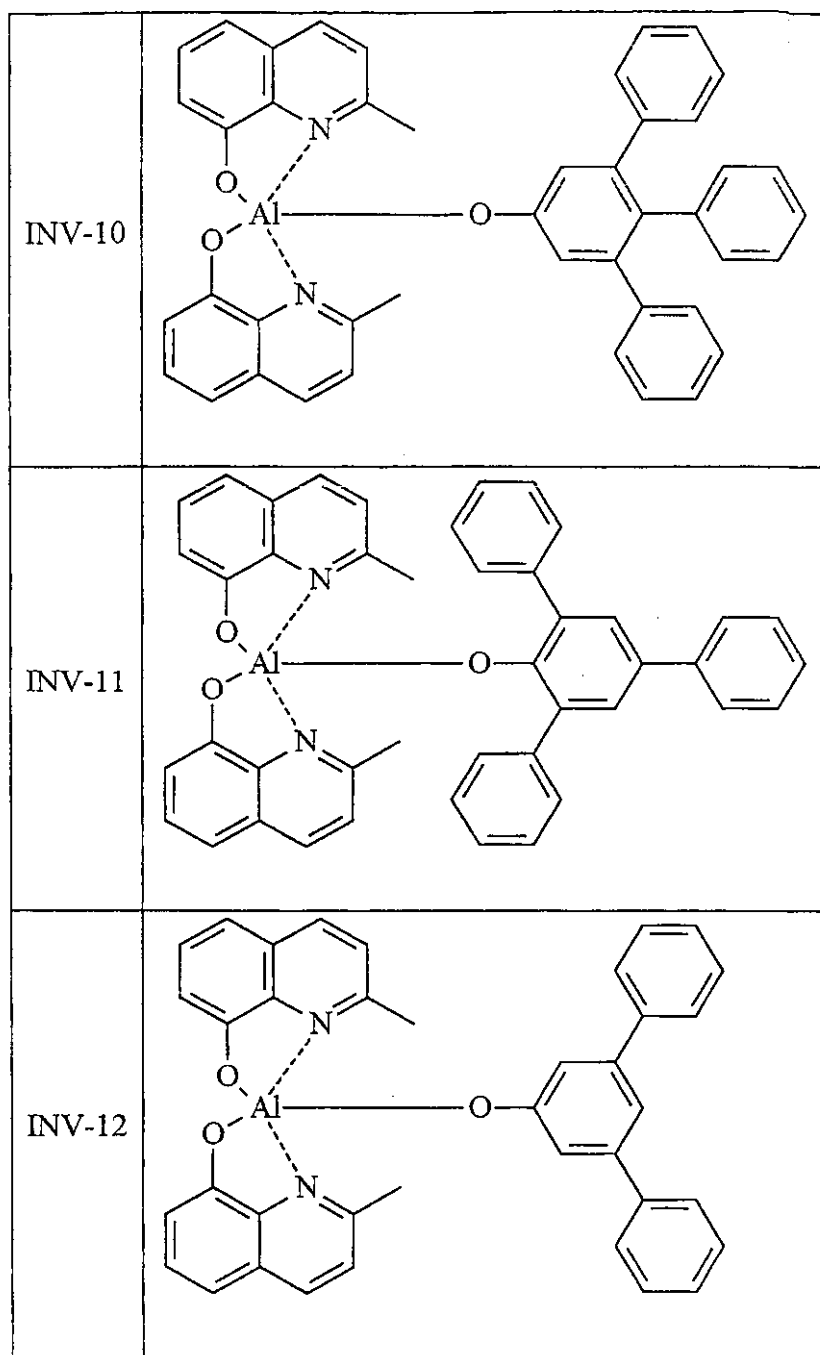
## 【化 2】



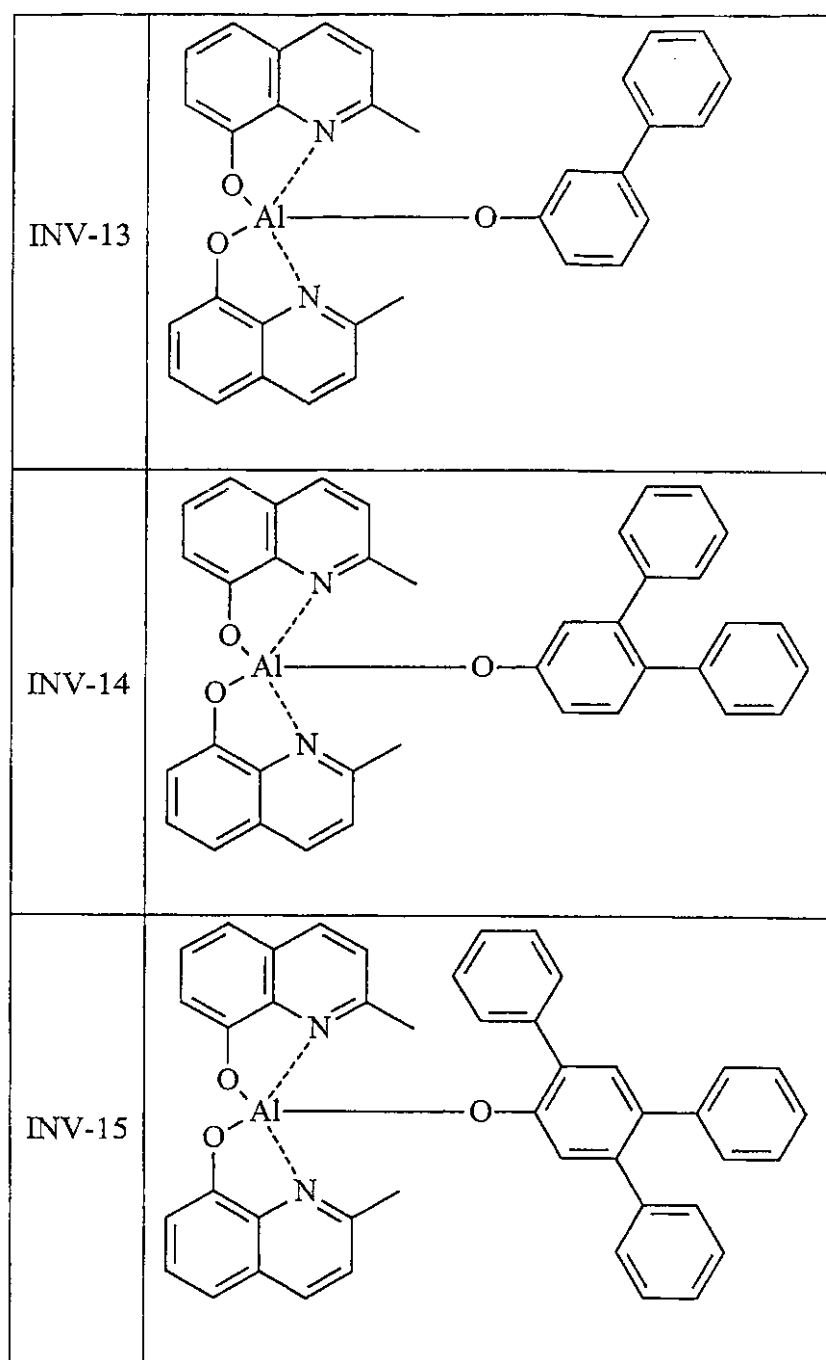
【化 3】



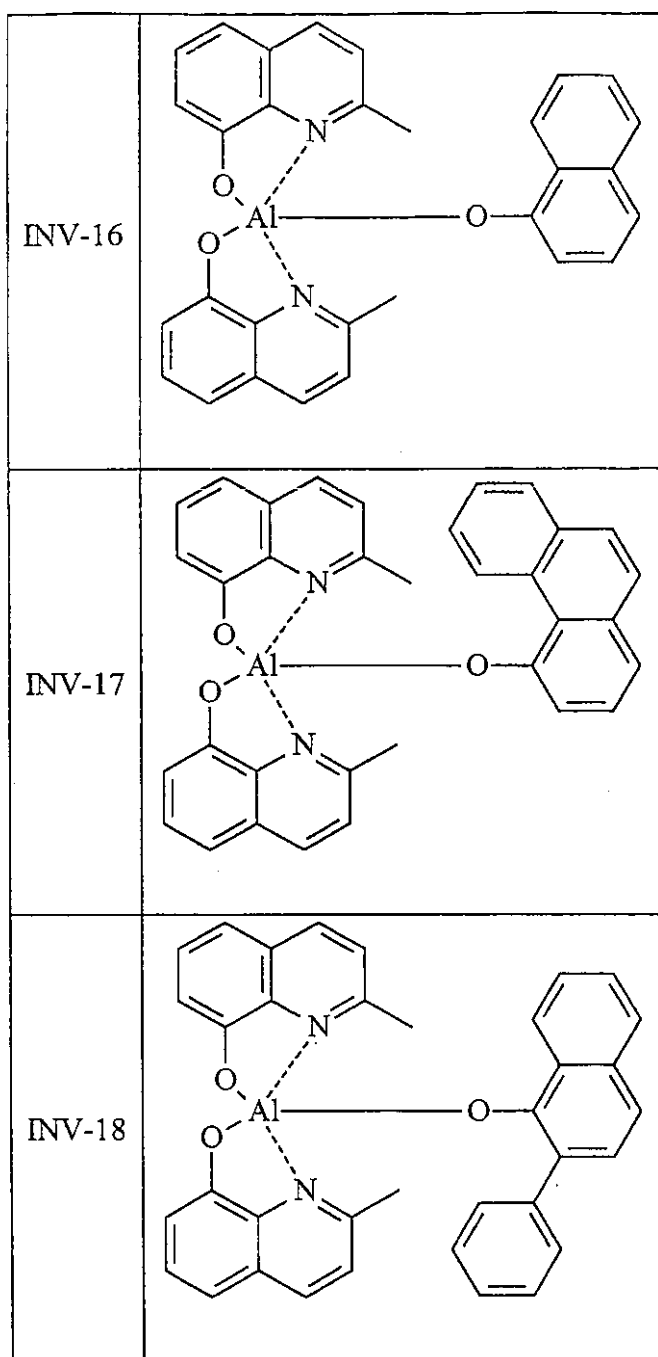
## 【化 4】



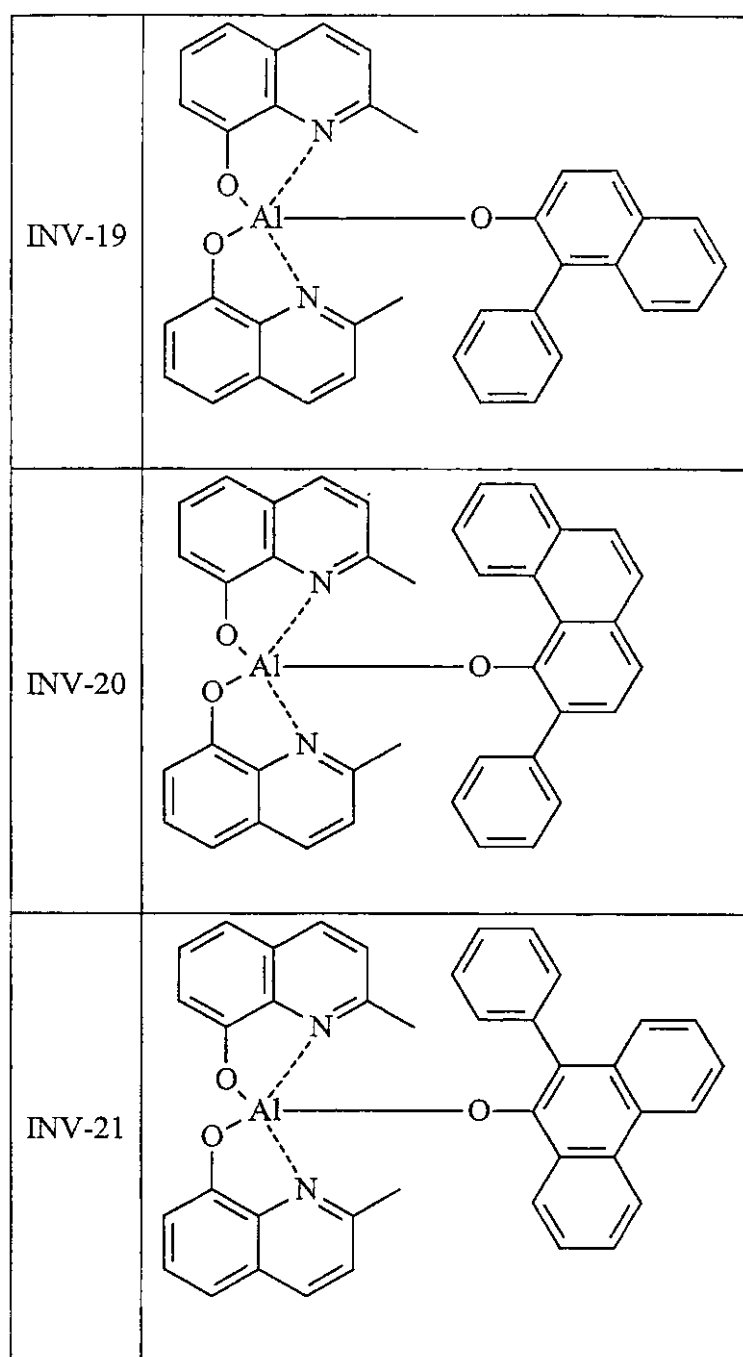
【化 5】



## 【化 6】

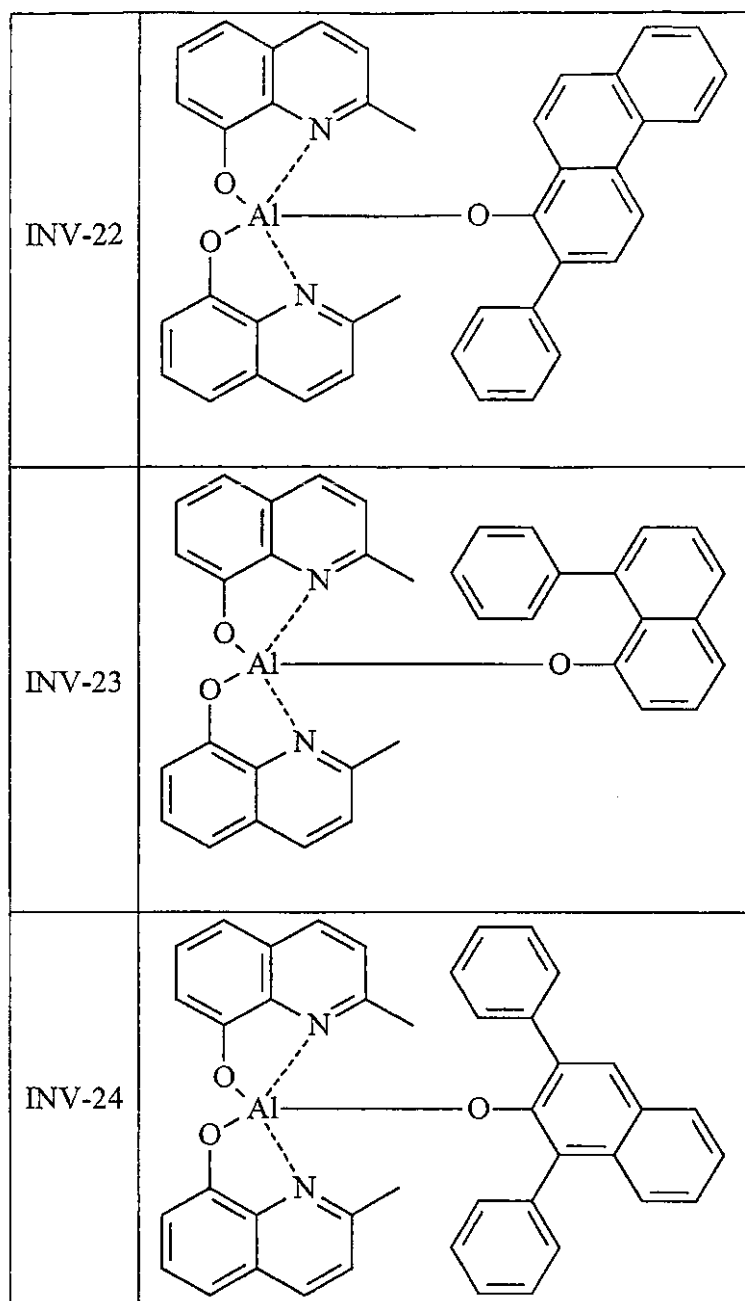


## 【化 7】





## 【化 8】



の中からはなされる、請求項 1 に記載の有機発光デバイス。

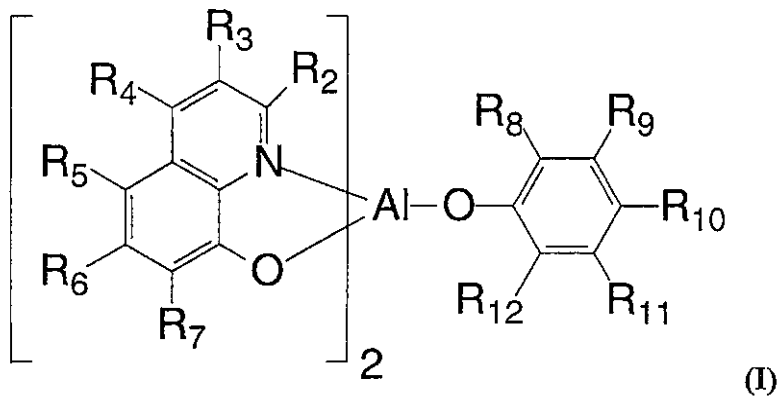
## 【請求項 3】

上記正孔輸送化合物が、上記ドーパントよりも大きな三重項エネルギーを持つトリアールアミンを含む、請求項 1 に記載の有機発光デバイス。

## 【請求項 4】

上記オキシノイド化合物がビス-オキシノイド部分とオキシ部分を含んでおり、一般式 (1) :

【化 9】



で表わされる（ただし、

$R_2$  は、電子供与性基を表わし、

$R_3$  と  $R_4$  は、それぞれ独立に、水素または電子供与性基を表わし、

$R_5$ 、 $R_6$ 、 $R_7$  は、それぞれ独立に、水素または電子受容性基を表わし、

上記オキシ部分では、 $R_{10}$  は水素または置換基を表わし、

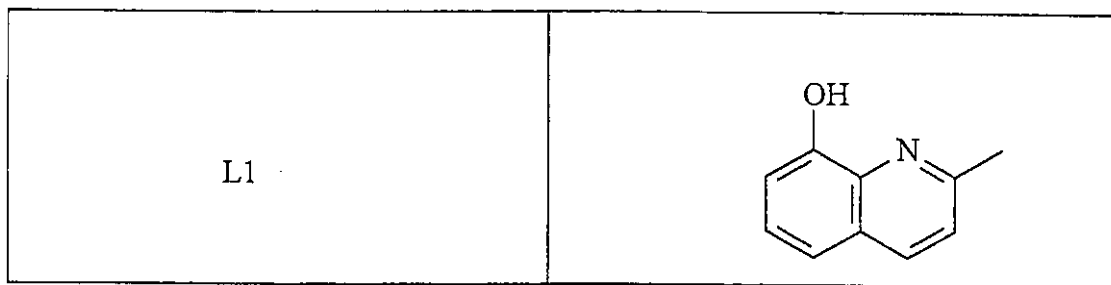
$R_8$ 、 $R_9$ 、 $R_{11}$ 、 $R_{12}$  の少なくとも1つは置換基を表わし、

$R_8 \sim R_{12}$  のうちの2つが合わさって環を形成していてもよい）、請求項 1 に記載の有機発光デバイス。

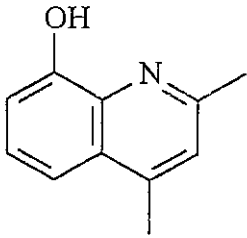
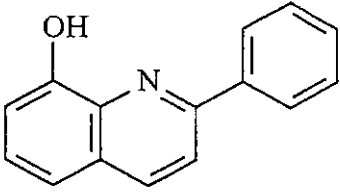
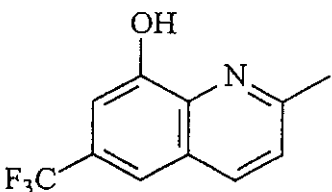
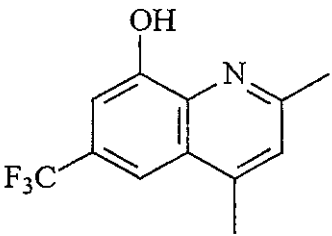
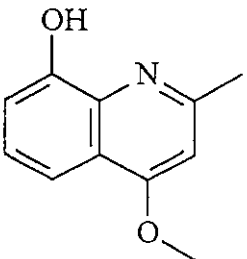
【請求項 5】

上記オキシノイド部分が、以下に示すもの：

【化 10】



## 【化 1 1】

L2	 <chem>Cc1cc(C)c2cc(O)ccc2n1</chem>
L3	 <chem>c1ccc(cc1)-c2cc3cc(O)ccc3cn2</chem>
L4	 <chem>Cc1cc(C)c2cc(O)c(C(F)(F)F)cc2n1</chem>
L5	 <chem>Cc1cc(C)c2cc(O)c(C(F)(F)F)cc2n1</chem>
L6	 <chem>Cc1cc(C)c2cc(OC)ccc2n1</chem>

のうちの1つに由来する、請求項 4 に記載の有機発光デバイス。